

顔のないヒトラーたち (2014)

IM LABYRINTH DES SCHWEIGENS
LABYRINTH OF LIES

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 ドイツ

色彩 Color

時間 123分

初公開日 2015/10/03

公開情報 アットエンタテインメント

映倫 PG12

【キャッチコピー】

消された罪、消せない記憶

【解説】

戦後十数年が経ち、経済復興の波に乗る西ドイツでは、ナチスによるユダヤ人虐殺の事実は、不都合な歴史として忘れ去られようとしていた。ところが1963年、ドイツ人自らの手によってナチスの犯罪を裁く“アウシュヴィッツ裁判”が開かれた。本作は、ドイツ人の歴史認識の大きな転換点となったこの裁判が実現するまでの道のりを、若き検事の苦闘の日々を通して描くドラマ。主演は「ゲーテの恋 ～君に捧ぐ「若きウェルテルの悩み」～」のアレクサンダー・フェーリング、共演に「ハンナ・アーレント」のフリーデリーケ・ベヒト。監督は俳優としても活躍し、これが長編初監督のジュリオ・リッチャレツリ。

1958年、フランクフルト。西ドイツは経済復興に沸き、人々の頭からはナチスの蛮行の記憶は急速に薄れつつあった。そんな中、ジャーナリストのグニルカが元ナチス親衛隊員の男が小学校の教師をしている事実を突き止める。しかし検察庁に掛け合っても、誰もが見て見ぬふり。ただ一人、駆け出しの検事ヨハンだけが興味を示し、グニルカとともに調査を開始する。やがて、アウシュヴィッツで残虐な行為に関わっていた多くの元親衛隊員が、何ら罪に問われることなく平然と社会に溶け込み、ごく普通の一般市民として生活している驚き事実が浮かび上がってくる。しかしいまや、国民の多くはそのことを蒸し返したいとは思っていなかった。そんな“嘘と沈黙の迷宮”に真正面から手を付けようとするヨハンには、想像以上の抵抗と妨害が待っていた。それでも事実から目を背けることなく、収容所の実態を徹底的に調べ上げていくヨハンだったが…。

【クレジット】

監督	ジュリオ・リッチャレツリ	Giulio Ricciarelli	
製作	ウリ・プッツ	Uli Putz	
	ザビーネ・ランビ	Sabine Lamby	
	ヤーコプ・クラウゼン	Jakob Claussen	
脚本	ジュリオ・リッチャレツリ	Giulio Ricciarelli	
	エリザベト・バルテル	Elisabeth Bartel	
撮影	マルティン・ランガー	Martin Langer	
	ロマン・オーシン	Roman Osin	
編集	アンドレア・メルテンス	Andrea Mertens	
音楽	ニキ・ライザー	Niki Reiser	
	ゼバスティアン・ピル	Sebastian Pille	
出演	アレクサンダー・フェーリング	Alexander Fehling	ヨハン・ラドマン

アンドレ・シマンスキ	Andre Szymanski	トーマス・グニルカ
フリーデリーケ・ベヒト	Friederike Becht	マレーネ
ヨハネス・クリシュ	Johannes Krisch	シモン・キルシュ
ハンジ・ヨフマン	Hansi Jochmann	エリカ・シュミット
ヨハン・フォン・ビューロー	Johann von Bulow	オット・ハラ
ロベルト・フンガー＝ビューラー	Robert Hunger-Buhler	ウォルター・フリードベルク
ルーカス・ミコ	Lukas Miko	ヘルマン・ラングバイン
ゲアト・フォス	Gert Voss	フリッツ・バウアー